

# 次世代につなぐ会より -活動の始まりと現状-

副委員長 宮下摩維子(東京支部)

# 今日、お話ししたいこと

- 活動の始まりとこれまでの活動
- これまでの活動で得た気づき
- これからの活動と課題

# 活動の始まり

## ■ 2022年6月 第1回オンライン会議

→ベテラン会員と若手会員のカジュアルな話し合い

## ■ 2023年2月 公開ワークショップ

→京都会場・東京会場をZoomでつなぐハイブリッド開催

日本だけではなく、インド・中国・

ウズベキスタンからの報告者も

⇒メンター制度の構築、奨学生の横のつながりの有用性、

若い世代へのアプローチ

# これまでの活動

## ■ 第1回 12月8日

井ノ口繭会員（東京支部会員）

「魚の塩分調整メカニズム」

伊津野舞さん

「女の子だからできない？」

## ■ 第2回 1月19日

濱松若葉さん（2022年度国内奨学生）

「誰もが働きやすい社会を目指して」

■ 第3回 2月10日

塩尻かおり会員（京都支部会員、守田科学奨励賞）

「カリフォルニア便り」

■ 第4回 2月27日

長谷和子会員（仙台支部会員）

「仲間とは何か、オタマジャクシの社会に学ぶ」

加島璃子さん（若手女性科学者海外研修助成金受給者）

「国際色豊かな環境での研究経験を通して」

# 次回イベント（告知）

■ 第5回 5月17日

井城 綸沙さん（国内奨学生）

「筋萎縮は認知症を加速させる-運動不足で筋肉から分泌される新たな有害分子の発見」

出町 未央さん（ホームズ奨学生）

「ヴィヴィ・ロン生誕150周年をふりかえる  
ーフィンランドにおける女性建築家の草分け再評価の動きー」

# これまでの活動で拳がった意見

- ① 入会するきっかけが必要  
→活動に面白さや学びがなければ、続けられない
- ② 先輩方の人生から学ぶことは多い  
→メンター制の構築
- ③ 奨学生同士、会員同士の繋がりを強めたい  
→今、行ってる活動
- ④ 現役世代が活動を続けられる新しい活動スタイルを

## ④ 現役世代が続けていかれる新しい活動スタイル

- 打ち合わせはメール、LINEをメインに
  - 議論が深まってきたら、Zoom会議を開く。
  - 打ち合わせは昼休みの時間を利用
- 議事録は最小限に
  - 打ち合わせをしながら、作成できるメモ程度
  - 修正の必要があれば、ドライブ上で各自
- 委員長が全責任を負うことのないように
  - 誰でも代わりに務められるようにする



# 今後の課題

- 現在のメンバーは研究者に偏りがち
  - 広く社会で活躍する会員とも協働したい
  - 仕事があってもなくても、  
分かち合えることはあるはず
- より若い世代へのアプローチを
  - 学部生・高校生とつながるには、  
企業との連携も必要ではないか？



次世代に  
つなぐ会